



# 新型コロナウイルスワクチン接種体制 【練馬区モデル】

令和3年1月29日(令和3年4月19日改訂版)

練馬区 健康部 住民接種担当課

# 練馬区モデルとは

- 個別接種と集団接種のベストミックスにより短期間で接種完了
- 診療所での個別接種をメインに、集団接種会場がカバー
- 個別接種会場は、区内約320か所の診療所
- 集団接種会場は、
  - 平日常設 6か所の病院、4か所の区立施設
  - 土日開設 区役所本庁舎
  - 毎週8か所の学校体育館
- 予約は、個別接種は直接診療所へ申込（高齢者インフルエンザワクチン接種と同じなので混乱が少ない）  
集団接種は区が受付(インターネット・自動音声受付)

※ 訪問診療受診者および高齢者施設等入所者への接種は、11ページを参照

# 新型コロナウイルスワクチン接種体制 練馬区モデル

- 【練馬区総人口】 74万人 《高齢者：16万人、その他一般：58万人（うち16歳未満：9万人）》
- 【接種率の想定】 約65%（今期高齢者インフルエンザワクチン接種率見込）
- 【接種会場】 診療所：約320カ所、病院：6病院、区立施設：5施設、学校体育館：毎週8校
- 【接種期間】 高齢者：最初の6週間（3週間×2回）で接種〔ファイザー社製ワクチンを想定〕

## 練馬区モデルのコンセプト

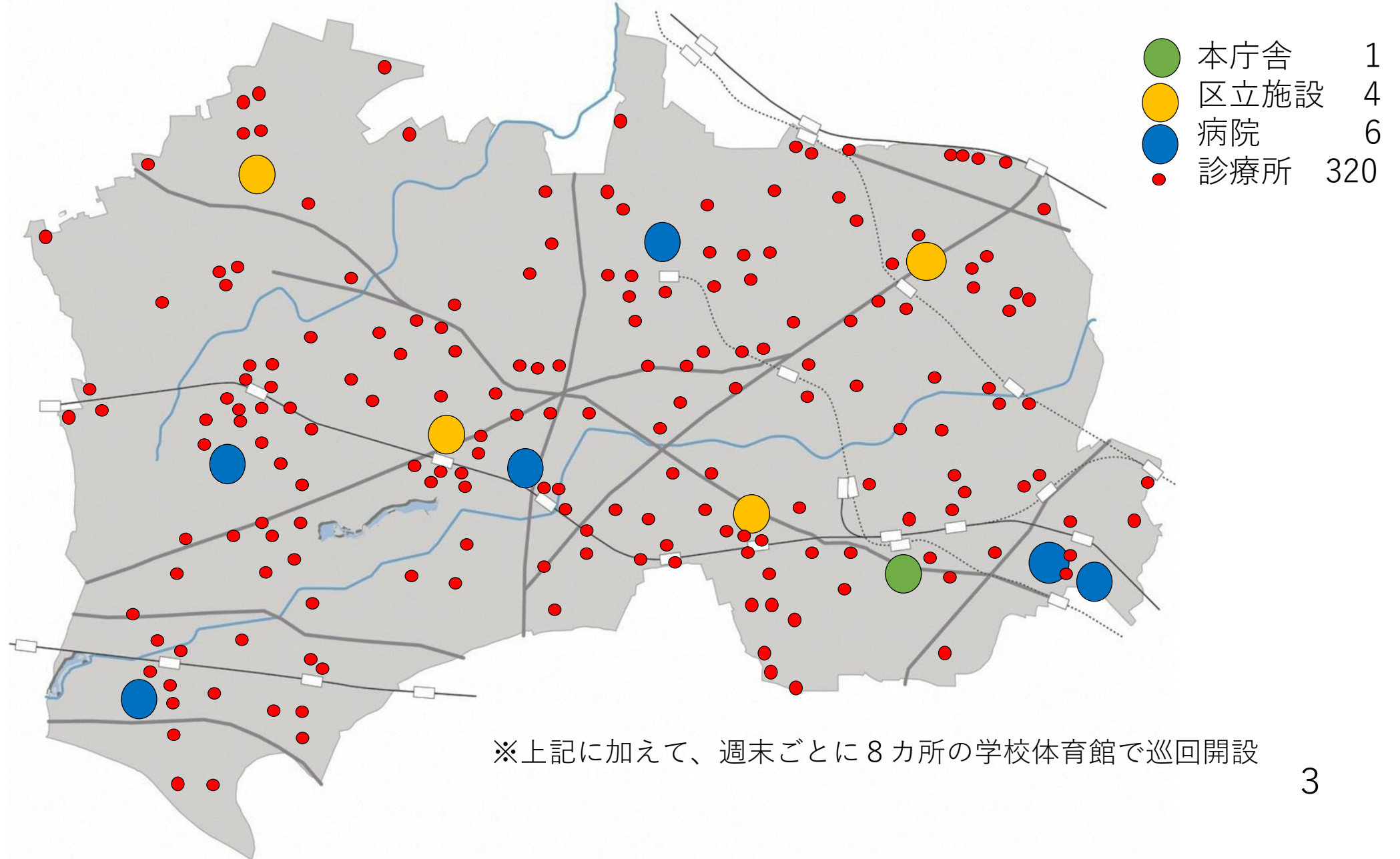
早くて 近くて 安心です

早くて 接種まで1か月も待たせない 速やかに接種できる体制を確保

近くて 近くの診療所で接種可 電車やバスに乗る必要なし 平日忙しければ土日に

安心です 通いなれた「かかりつけ医」が接種するので安心

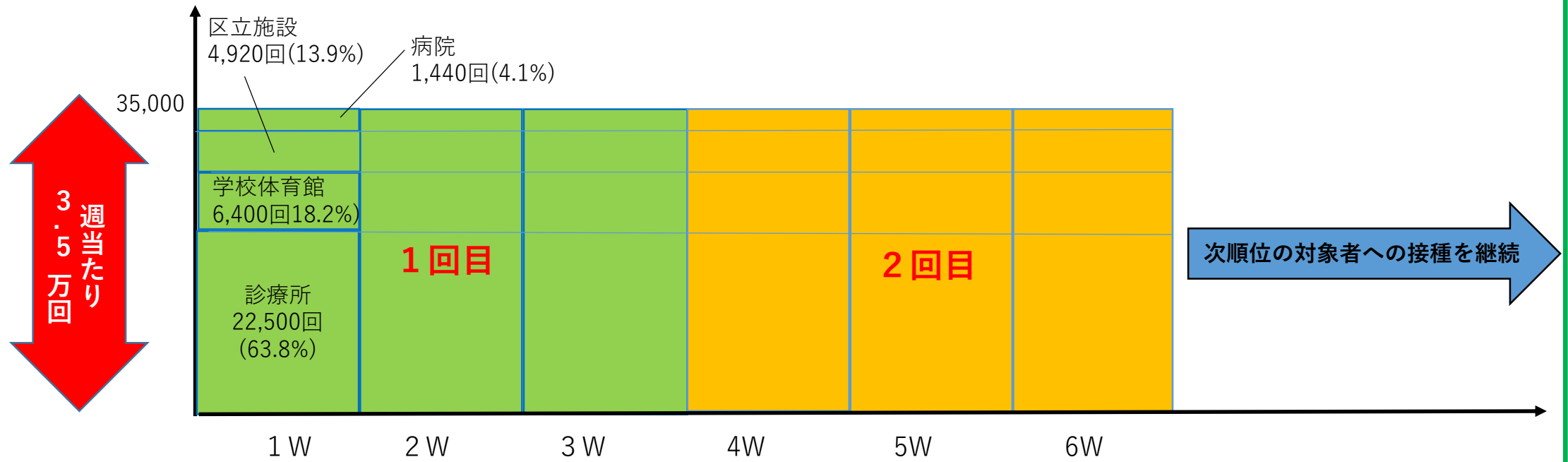
# 接種会場配置イメージ



接種数の想定（高齢者）  
〔ファイザー社製ワクチンを想定〕

## 接種数の想定（高齢者）

- 65歳以上高齢者16万人、接種率65%、2回接種で21万回の接種が必要
- 週当たり3.5万回接種することで、6週間で2回の接種(21万回)が完了



ワクチンの小分けによる診療所での接種

# 診療所等での接種の流れ

## 診療所等（ワクチン接種施設）

① 見込数を区に報告

④ 接種予約を受付

⑥ 冷蔵または冷凍で保存

⑦ 接種

⑧ 接種実績の報告

- ・ V-SYSに接種実績数を入力
- ・ VRSで接種券を読取
- ・ 予診票を区に送付

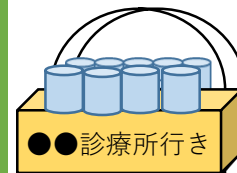


## 練馬区（ワクチン保管施設）

② V-SYSで発注・  
ワクチン保管

③ 配送するワクチン数を通知

⑤ ワクチンを冷凍移送



⑨ 接種履歴の入力  
診療所から送付された  
予診票を基に区のシス  
テムに入力



# ワクチンの小分け方法

練馬区全体を4つの区域に分け、各区域の区立施設を基本型接種施設に位置づけて、区域内診療所（70～80か所）へ小分けして冷凍移送する。

## 【集団的接種会場】



病院



区立施設

ディープフリーザーを配置


## 【個別接種会場】

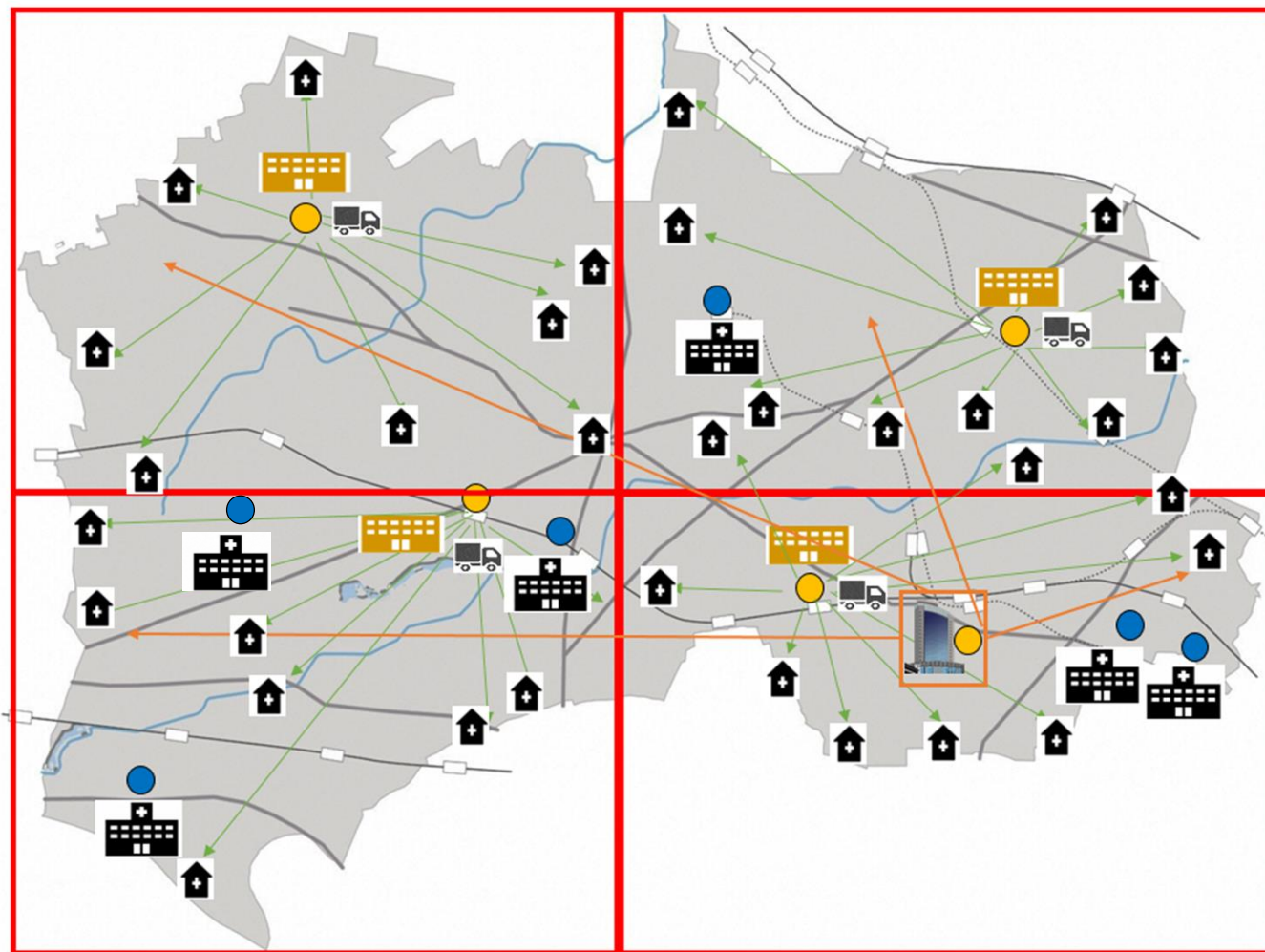


診療所等

基本型接種施設から移送されたワクチンを冷蔵で管理する場合は5日間、冷凍で管理する場合は14日間で使い切る。

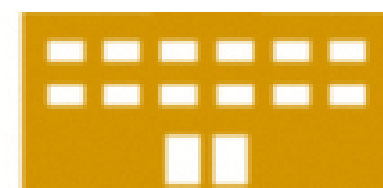
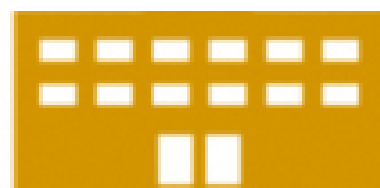
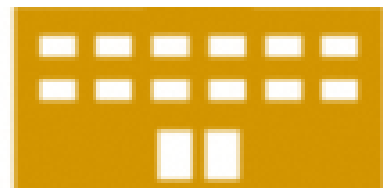
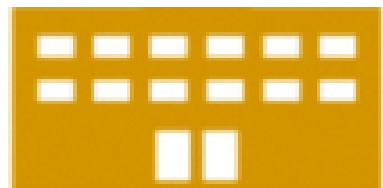


本庁舎（）は、全体統括として、全地域のフォロー移送を行う。

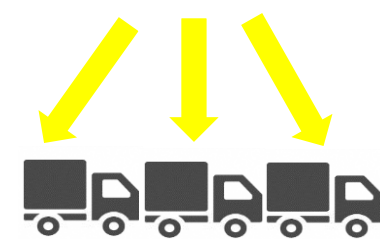
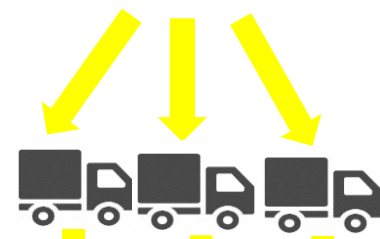
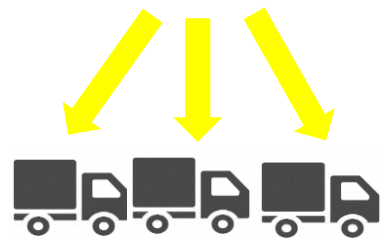
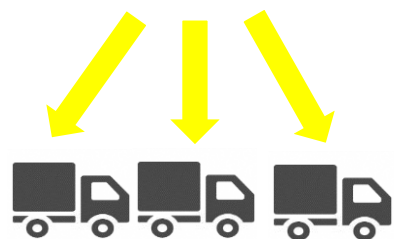


※ディープフリーザーを順次増設した場合には、より小さな区域を設定することも可能

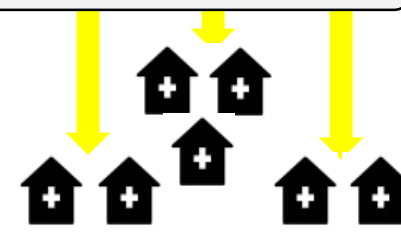
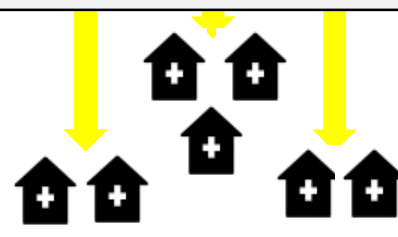
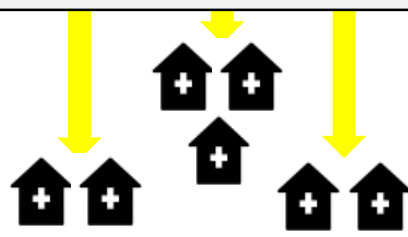
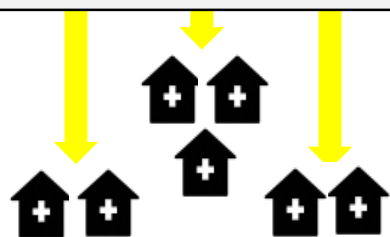
# 基本型接種施設（区立施設）から診療所等へ移送イメージ



基本型接種施設（区立施設4か所）にて70~80個に小分け

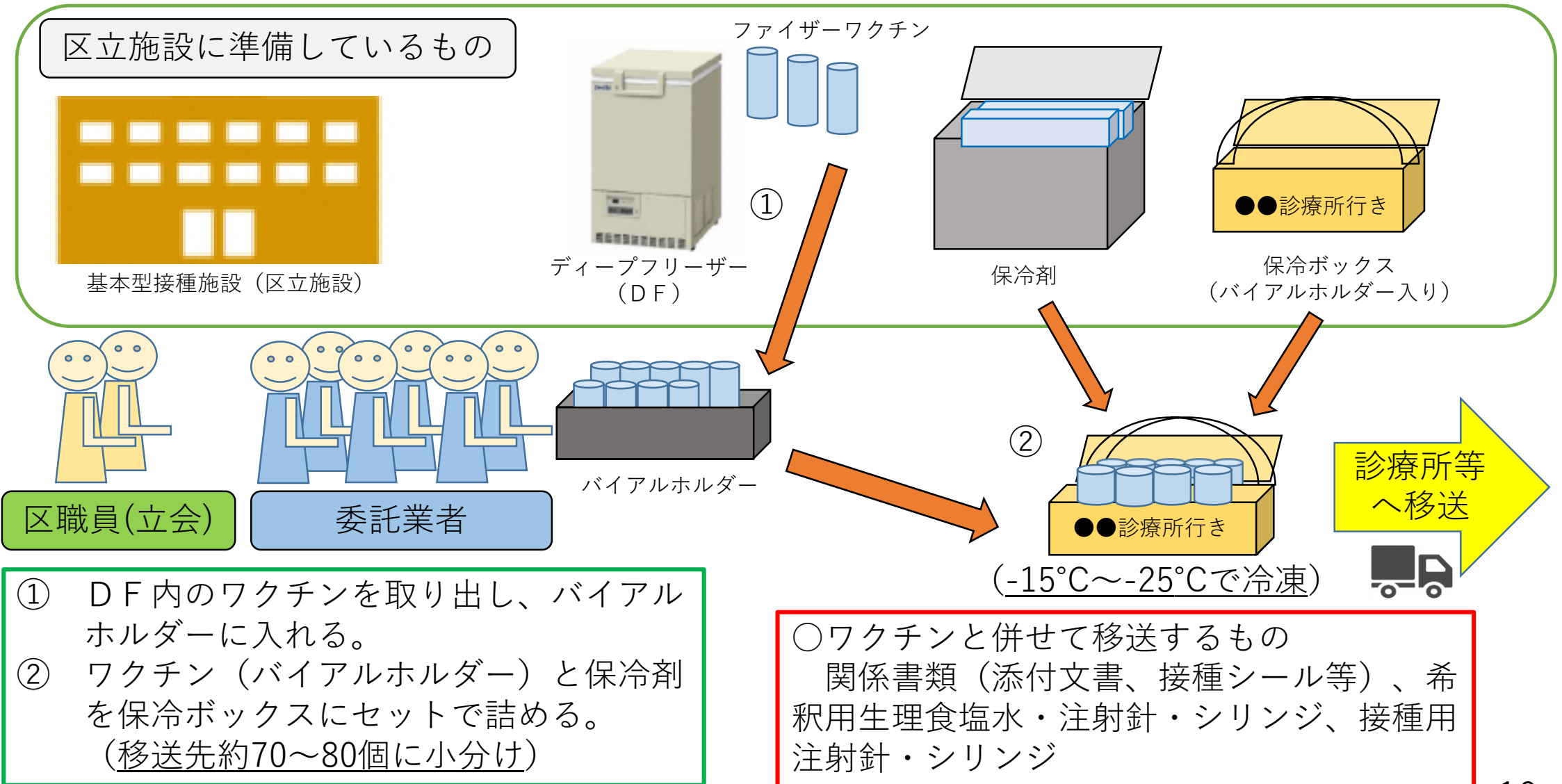


配送委託事業者（トラックなど）が移送



診療所等（約320か所）に個別に納品（5日または14日間で使用）

# 基本型接種施設（区立施設）での小分け作業フロー



## 訪問診療受診者および高齢者施設等入所者への接種

- 区内訪問診療受診者数 約6,000人  
訪問診療を実施する区内医療機関数 約100か所

訪問診療を受けている患者へのワクチン接種は、原則、その主治医が行う。

- 区内高齢者施設等入所者数 約10,000人
  - ・ 特別養護老人ホーム（32施設）、介護老人保健施設（14施設）等  
当該施設の嘱託医・施設医等がワクチン接種を行う。
  - ・ その他医師の関与がない施設等  
区が委託した医師が施設を回りワクチン接種を行う。

**1日に接種する件数を6の倍数となるようスケジュールを作り、自分が属する地域の「基本型接種施設（区立施設）」にワクチンの発注を行い、受け取る。**

## ワクチンを無駄にしない取組

- 診療所での接種体制は、練馬区医師会の協力により構築。  
ワクチン取扱上の注意（5日または14日間で使い切るなど）については、医師会を通じて周知徹底する。
- 冷蔵管理の場合、週2回ワクチンを移送し、5日以内に接種を完了。  
冷凍管理の場合、週1回ワクチンを移送し、14日間以内に接種を完了。
- 各診療所では、バイアル（瓶）ごとの接種回数の端数など、接種されないままとなるワクチンが発生しないよう、接種は予約制とする。
- 1バイアル6回分なので、1日の予約数は6の倍数とする。
- 当日キャンセルに備え、下記の方法等により、廃棄されるワクチンの発生を抑制する。
  - ① 接種の待機者（早急な接種を希望する者、翌日以降の予約者）に連絡し、接種する。
  - ② 優先接種区分に関わらず、付き添いで希望する方などに接種する。<sup>12</sup>

# 事前周知から接種までの流れ

## 事前周知から接種までの流れ（高齢者）

### 1.事前周知

< 3月1日～>

区報、区ホームページ、区内掲示板等で区民に周知（2回程度）  
（1回目）制度説明（2回目）接種券送付のお知らせ ※相談コールセンター開始

### 2.接種券等の発送

<5月以降>

接種券やお知らせを対象の高齢者（16万人）に送付  
5月中旬に75歳以上の高齢者（9万人）、6月中旬に65～74歳の高齢者（7万人）に分けて送付

### 3.ワクチンの配分

- ① ワクチン割当を受け、区接種会場、配送拠点ごとに割り当て
- ② 区拠点から医療機関に小分けし割り当て（区が接種量調整、V-SYS入力）

### 4.接種会場・予約方法の周知

「コロナワクチンナビ（V-SYS）」、区ホームページ等にて広く周知

### 5.予約開始

<5月中旬以降>

- ①診療所：各診療所へ直接予約
- ②集団接種会場：予約専用電話(音声対応100回線)、WEB予約システムにて予約

### 6.接種（1回目）

予約した日時・会場にて接種

### 7.接種（2回目）

1回目と同じ医療機関・会場で接種（原則）

# 集団的接種の流れ

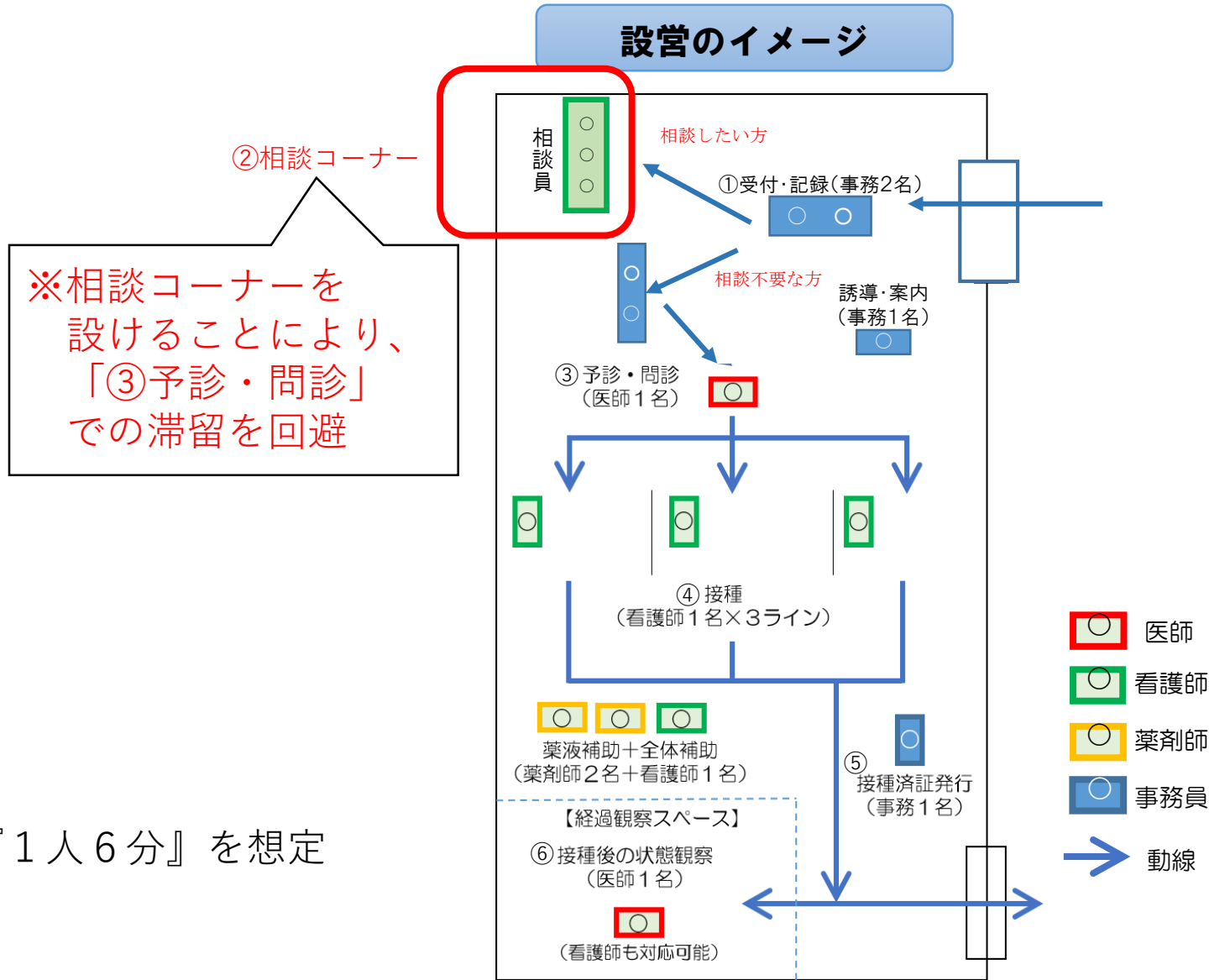


# 区立施設・学校体育館での集団接種

## 【当日の流れ】

- ①受付
- ②相談コーナー  
(希望者のみ)
- ③予診・問診
- ④接種
- ⑤接種済証発行
- ⑥観察

受付から接種までの時間を『1人6分』を想定



相談・広報体制、小分け管理の試行

## 新型コロナウイルスワクチンに関する相談・広報体制

- 区民からの問い合わせ・相談

  - コールセンター

  - チャットボット

- 区民への周知・広報

  - ねりま区報

  - 練馬区公式ホームページ

  - 練馬区公式各種SNS（ツイッター、フェイスブック）

  - 周知用ポスター・チラシの掲示、配布

## ワクチンの小分け管理の試行について

医療従事者の優先接種に合わせ、区で行う小分け管理を試行する。

〔実施内容〕 医療従事者の優先接種を一部診療所で実施することで、ワクチンの小分け方法等を試行、検証する。

〔体制〕 練馬区医師会と協力し実施。

〔検証〕 試行後、課題の洗い出しを行い、高齢者の接種に向け、業務を改善していく。